



門前梨園地は、二十世紀梨再生の拠点として、関係者から大きな期待を寄せられています

二十世紀梨の再生にむけて

老木化が進む二十世紀梨の切り替えをスムーズにおこなうため、平成14年1月に整備された、門前梨園地の梨が実り、6月23日、初めての袋掛け作業がおこなわれました。

袋掛けには、JA鳥取西部山西組合長をはじめ、JA名和町果実部・普及所・生産者などの代表21人が参加。果樹振興への願いを込めて、ひとつひとついねいに袋を掛けていました。

イキイキネットワーク 話題を追って

世界遺産研究会

6月24日、公民館では、町づくり成人講座として「世帯遺産研究会」が開講されました。

この日は、昨年度の「世界遺産研究会」参加者から、今年1月に視察研修に訪れたアンコールワットの報告を聞きました。

受講生のみなさんは、この報告を聞いて、さらに世界遺産に魅力を感じたようです。



昨年度のアンコールワット視察研修の
スライドに熱心に見入る参加者のみなさん

国際交流の輪を広げよう

6月13日、名和町国際交流協会の第9回総会と国際理解講演会が公民館で開かれました。

「毎日ありがとう!」と題した講演会では、大山町在住の金愛蘭^{キムエラン}さんが、自らの体験を中心に、国際交流のあり方について講演しました。

また、引き続き山香荘でおこなわれた草の根交流会には、県内の在日大韓国民団、日韓親善協会の会員も参加。約70人が、和やかな雰囲気の中で、友好と交流の輪を広げました。



金さんの明るい笑顔の中に、国際理解・差別解消に取り組む熱い思いが強く感じられました



高見さんは、1アンダーの好スコアでベストグロス賞も獲得

名和町最後の町長杯

「第2回名和町長杯ゴルフ大会」が、5月30日、神田ゴルフクラブでおこなわれました。

朝からの激しい雨にもかかわらず、一人の欠席者もなく、関西からの里帰り参加者を含む29人が、和気あいあいと熱戦を繰り広げました。

戦績 (敬称略)	優勝	高見 芳夫(上坪西)
	第2位	権田 実雄(押平2区)
	第3位	榊原 進(御屋10区)



一斉清掃をして、改めて実感するポイ捨てゴミの多さ。海も山も泣いています

今年は25区・部落が参加

住みよいまちづくりの実践を目的に、毎年恒例の町内一斉清掃が、6月6日におこなわれました。

今年は、梅雨空の下、25の区・部落が参加。午前8時から約半日かけて、それぞれの地区内の海岸清掃や道路清掃、草刈り、側溝掃除などに汗を流しました。海岸や道路には、投棄されたゴミも多く見られ、参加者のみなさんは、環境保護の大切さを改めて実感したようです。

庄内小学校授業参観

公民館のことぶき学級では、6月24日に、庄内小学校へ同和教育の授業参観にでかけました。

町内の小学校では、子どもたちが同和教育についてどのように学習しているのか、学級生のみなさんは興味津々だったようです。

子供たちが熱心に、そして元気に学習している様子に「私たちも負けずに勉強せなけん」と学習意欲を新たにしていました。



参観日の子どもたちの様子は、10ページの「名和っ子~学校から~」にも掲載しています

名和小グラウンドの整備を

国土交通省管轄の名和・淀江道路工事内の関連業者(船越・石橋経常建設共同企業体)のみなさんから「関連工事で日々ご迷惑をかけており地域の方々にご恩返しの意味で、町内小学校グラウンドの整備・草取りなどのボランティア活動を実施したい」との申し入れがあり、本年度は6月22日から24日の3日間、名和小学校グラウンドで草が生えていた部分を削り取るなどの奉仕作業をしていただきました。本当にありがとうございました。



草の生えていたグラウンドがとてもきれいになり、名和小の児童たちも喜んでいました